

伊方町農業支援センターだより

Farmer's Communication Magazine For IKATA Member's

町とJA連携による地域農業振興に 全力を傾注

伊方町農業支援センター運営協議会長
西宇和農業協同組合代表理事 理事長

きのした ちかし
木下 親



皆さまにおかれましては、日頃から伊方町農業支援センター活動、またJA事業各般に亘って格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、JAにしうわ28年産の“みかん販売”を振り返りますと、秋季の高温多雨など異常気象の影響から生産量が伸び悩んだものの、皆さまの絶え間ない生産努力や、共選の尽力により高単価で推移いたしました。お蔭さまで努力目標の100億円には届きませんでしたが、96億円余りの販売実績を残させていただきました。続く中晩柑類につきましても、みかん同様に生産量減の中ではありますが、まずまずの販売価格で推移いたしております。このような中、生産課題として秋季の長雨による品質低下を市場から強く指摘されている所であり、今年産については、タイベック被覆面積600haを目標に、共選と一体となって推進強化しているところです。また、収穫時の労働力不足も顕著となっております。一昨年に開設した「みかんの里宿舎“マンダリン”（旧舌田小学校）」を活用しながら、昨年は全国から210名の「みかんアルバイト」

を斡旋したほか、愛媛県のワークホリデー事業を活用し、清見の収穫など三崎地区への労働力補充にも力を注ぎました。引き続き、Iターンや遠方からの労働支援者に対する宿泊施設の充実強化など行政連携により対応いたします。

一方、農政面では、米国の離脱でTPP問題は実施不可能との見方もありますが、政府は米国抜きでも協定発効の姿勢を見せておりますし、仮にTPPが実現しなかったとしても、米国が主張する2国間協定が見え隠れ致しております。JAグループでは引き続き「農業者自らの努力で埋めることのできない「聖域なき関税撤廃への反対」を政府・与党に要請するとともに、強い農業への転換を進めてまいります。

伊方町においては、他地区に先んじた農業支援センターの設置により、行政・農業関係団体が一体となって地域農業振興を推進いたしております。引き続き、町とJAの更なる連携強化による地域農業の充実に全力傾注いたす所存です。皆さまの変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

1. ごあいさつ 支援センター運営協議会長・西宇和農協理事長 木下 親 氏
2. 平成29年度伊方町農業支援センター業務と担当及びスタッフ紹介
3. 青年農業者協議会、認定農業者協議会総会開催
4. 三崎地域で実施（H29.1月と3月）した「ワーホリ」を検証
5. 農業次世代人材投資事業の紹介
新規就業者支援対策事業の補強紹介
- 6～7. 青年農業者協議会プロジェクト発表紹介（三崎地区農業後継者協議会）
ニューフェイス紹介（中之浜 菊池仁希さん）
8. 農業委員・推進委員のみなさんを紹介します



No.19

企画発行 / 伊方町地域担い手育成総合支援協議会（伊方町農業支援センター内）
〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦 1993-2
JAにしうわ伊方支店 営農管理センター内
TEL (0894) 38-0311 FAX (0894) 38-1063

◆瀬戸・三崎地区の受付窓口◆
瀬戸支所地域住民室 TEL (0894) 52-0113
三崎支所地域住民室 TEL (0894) 54-0116

伊方町農業支援センター業務内容・スタッフ紹介

業 務	内 容	役 職	氏 名
●地域営農に関すること	中山間地域対策事業、農業担い手支援、農業振興対策推進等に関すること。	所 長	梶 谷 典 久
●地域支援に関すること	補助事業相談指導、鳥獣害対策に関すること。	室 長	山 内 清 秀
●土地改良区に関すること	土地改良区の運営に関する業務、土地改良区事務。	主 事	濱 本 芳 彦
		事務補助員	田 中 恵 美
●農業委員会に関すること	農地法に基づく業務、農業経営基盤強化促進法に基づく業務、農業者年金に関すること。	事 務 局 長	井 上 憲 佳
		主 査	堀 内 佳 代
●営農指導	営農指導、補助事業、無料職業紹介、農地流動化、青壮年同志会事務局、女性部事務局、税務指導、農業者年金、労働災害保険、農作業支援、南予用水、伊方町共同防除組合事務局	営農指導係長	梶 谷 典 久
		営 農 指 導 員	西 川 吾 一
		生 活 指 導 員	山 下 栄 子
		営 農 指 導 課	松 平 満



関連窓口

伊方町役場(支所地域住民室)

瀬戸支所 主事 松本 勇太
三崎支所 室長 竹内 元昭

八幡浜支局 地域農業室

主 幹 大塚 千浪
担当係長 兵頭 強
技 師 美藤 勝経

JAにしろわ(営農指導員)

町見事業所 佐々木穂高
瀬戸出張所 谷本 洸太
三崎出張所 柴田 法行

農業支援センターの場所はこちら！



役場のとなり「JAにしろわ伊方支店営農管理センター」内にあります。



「青年農業者協議会」「認定農業者協議会」総会開催

伊方町青年農業者協議会は5月8日、平成28年度総会を開き、新年度事業計画を決めました。今年度も、経営改善を図るための研修会の開催と各支部活動でのプロジェクト活動、八西地区青年農業者協議会で実施している出前事業への参加等に取り組みます。

今年度は、農業で働く青年たちの交流を広げる大会である「平成29年度全国農業青年交換大会」が松山市で開催されます。10月19日～20日に全国から約300名が集まります。その大会実行委員長に齋藤誠二氏が就任しています。1日目は、全体会、2日目は現地研修会となっています。現地研修会の場所は、県内で複数設定しますがその中の1コースは、八西管内で準備する予定です。

※ 40歳未満の農業者で構成している会ですので興味のある方は役員または事務局（農業支援センター）までご連絡ください。



阿部幸徳 会長



井村大貴 副会長

平成 29 年度 青年農業者協議会役員

役 職	氏 名	地 域
会 長	阿 部 幸 徳	平 磯
副 会 長	井 村 大 貴	九 町
会 計	眞 田 稜 太	三 崎
理 事	米 田 幸 弘	大 浜
理 事	齋 藤 誠 二	三 崎
監 事	小 西 寿 治	二名津
監 事	水 本 文 教	大 浜

伊方町認定農業者協議会は5月23日、平成28年度総会を開き、新年度事業計画を決めました。今年度は、全国農業担い手サミットが四国内で初めて高知県で10月24日から25日で開催されます。多くの会員が参加し、自己研鑽につなげることを確認しました。



高月嘉彦 会長



米田慎一郎 副会長

平成 29 年度 認定農業者協議会役員

役 職	氏 名	地 域
会 長	高 月 嘉 彦	川 永 田
副 会 長	米 田 慎 一 郎	大 江
会 計	齋 藤 博 人	三 崎
監 事	杉 山 村 夫	三 崎
監 事	矢 野 道 政	大 浜
理 事	土 居 敏 矢	中 之 浜
理 事	清 水 重 正	中 浦
理 事	高 野 晃 一	九 町
理 事	島 津 政 良	塩 成
理 事	宇 都 宮 幹 吾	松

西宇和ワーキングホリデー

～おさらい～

昨年度、三崎地区と瀬戸アグリトピアを拠点に「西宇和ワーキングホリデー」が実施されました。

「ワーキングホリデー」とは、都市部の若者（大学生）などが冬休みなど長期の休暇を利用し、一定期間地方に滞在しながら、地域住民との交流を通して田舎暮らしを働きながら学ぶ取組みです。

若者の力で地域に活力を与えるとともに、「将来ここに住みたい!」というような移住希望者を掘り起こすことで、地域経済の好循環と「ヒト・情報」の流れを生み出すことを目的としています。

～実施概要～

三崎地区ではH28年12月より三崎共選が窓口となりワーカー募集を開始し、10名のワーカーさんが17戸の農家の仕事を順次支援しました。

1月と3月には、デコポンの収穫や清見の袋かけ・収穫、選果場内の選別などを中心に作業に励んだほか、三崎地区で古くから伝わる伝統芸能「お伊勢踊り」の参観や今年点灯100年を迎えた佐田岬灯台の視察、鳥獣被害の状況など、生産現場以外にも、地域の伝統や特色など地域の様々な文化や魅力に触れてもらいました。

ワーカー受入のおおまかな流れ

1月 9日	第1回 ワーカー受入式
1月15日	第1回 交流会 (鳥獣害対策研修、お伊勢踊り、佐田岬灯台探訪、はなはな視察、郷土料理実習)
1月21日	ワーホリ説明会(福岡)
2月18日	就農フェアでのワーカー募集(東京)
2月28日	第2回 ワーカー受入式
3月18日	第2回 交流会 (鳥獣害状況説明、鉄筋柵設置、電気柵研修)

～ワーカーさんの声～

交流会を通して、ワーカーさんからは以下のような意見を聞くことができました。

- 農作業を通して三崎という地域と人柄に魅力を感じた
- 温州みかん以外に晩柑の作業を体験して、三崎地区に興味がわいた
- 人づきあいが楽しく、外で働くのも気持ちよかった
- 食べ物を栽培する大変さと大切さを学べた など



清見の収穫作業の様子

～成果とこれから～

取組を通して、ワーカーさんには柑橘業の魅力のほか、労働力として必要とされるやりがいなど、現場を通してわかる地方の魅力を感じてもらうことができました。受入農家からも、農繁期の労働力確保のほか、交流会などのやり取りを通して、これまでなかった刺激や活力を得たとの意見もありました。今後も受入環境の整備や宿泊先の確保など課題はありますが、農家とワーカーがお互いの需要を補完し合いながら、地区が一丸となって地区農業を発展させる仕組みづくりと、継続した取組・手段等を考えていく必要があります。

■ 農業次世代人材投資事業の紹介

Q 農業次世代人材投資事業とは？

昨年度までの「青年就農給付金事業」のことです。
就農前の研修段階及び就農直後の経営確立のための
資金を交付する制度です。



◆ 「経営開始型」の交付要件

- ① 独立・自営就農時の年齢が、45歳未満の認定新規就農者
- ② 青年等就農計画に基づいて農業経営を行い、以下の要件を交付対象者が満たすこと
 - ・農地の所有権又は利用権を有している。
 - ・主要な機械・施設を所有又は借りている。
 - ・生産物や生産資材等を交付対象者の名義で出荷取引する。
 - ・農産物等の売上げや経費の支出などの経営収支を通帳及び帳簿で管理する。
- ③ 青年等就農計画等が以下の基準に適合していること
 - ・独立、自営就農5年後には農業で生計が成り立つ実現可能な計画である。
 - ・経営移譲等で就農する場合は、新規参入者と同等の経営リスクを負い経営発展に向けた取組を行うと町長に認められる。
 - ・農業次世代人材投資資金申請追加書類を添付する。
- ④ 人・農地プランへの位置付け、または、農地中間管理機構から農地を借り受けていること
- ⑤ 生活保護等、生活費を支給する国の他の事業と重複受給でないこと
- ⑥ 青年新規就農者ネットワーク（一農ネット）に加入すること
- ⑦ 平成24年4月以降に独立・自営就農した者。しかし、交付は農業経営開始後5年度目までとする。

◆ 給付金額

※ 平成27年度の新規交付対象者から、前年の所得に応じて2年目以降の交付金額が変動しています。

経営開始初年度は、給付期間1年につき150万円

経営開始2年目以降 350万円 - (前年の総所得(給付金は除く)) × 3/5 の額
前年の総所得が100万円未満の場合は150万円を支給

■ 新規就業者支援対策事業(町単独)の補強

就農希望者が、体験～研修～就農へ至る部門でJAと協力し就農援助

体 験

- ①短期研修参加助成金(40歳未満:他事業あり)・・・40～44歳
概ね 5日間/助成30,000円以内 概ね10日間/助成60,000円以内

研 修

- ②Iターン就農サポート事業補助金(研修者支援)・・・45歳未満、2年以内
月額 6万円(年額72万円) ※国または機構の事業を併用

就 農

- ③Iターン就農サポート事業(青年就農給付金事業協調補助)・・・45歳未満、3年以内
年額 50万円 ※農業次世代人材投資資金(経営開始型)を併用

①～③の財源は、町1/2、JA1/2

町内の40歳以下の農業者が集まって農業の推進に活躍している団体が町内に2つあります。三崎地区農業後継者協議会と伊方地区青年農業者協議会です。

これらの協議会で、年間通して課題研究を実施し、その成果を八西管内の青年農業者が集まり3月に「プロジェクト発表」を行っています。その中から今回は、三崎地区農業後継者協議会で行われた「清見の認知度UP！」の活動を紹介します。

清見の認知度UP!

三崎地区農業後継者協議会



私たちの柑橘経営では、清見の経営面積が多くを占めているため、その価格が農業収入の金額を大きく左右します。そのため、清見の消費を拡大する取り組みを行っています。

昨年からの清見の認知度UP!のため取り組みを始めた「ハート型清見」について、今年度は、形の良いハートをつくるための型枠の設置時期の検証とハート清見の利用方法及び三崎地区の主力品種の認知度調査のためにアンケートを行いました。

まず、型枠設置時期についてです。昨年実施した9/2を考慮し、今年は設置時期を3回(8/12、8/22、9/2)に分けました。また、設置場所も三崎、名取、二名津、平磯の4カ所で各5~10個に型枠を設置しました。(全部で100個設置)

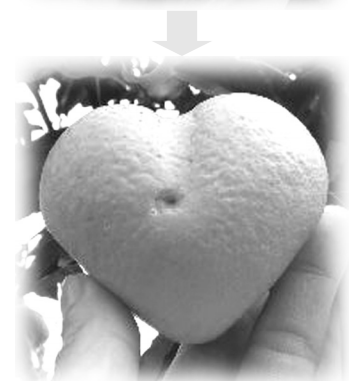
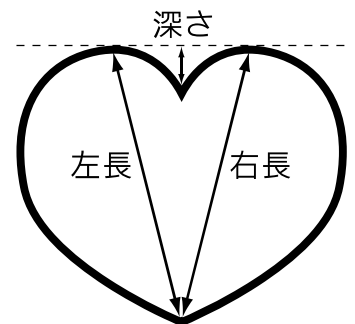
結果は、ハートの左右のバランスが良い成功率を見ると設置が遅い方が良いが(資料①)、ハートの窪みの深さにこだわると早い時期に設置する方が良いことが分かりました。(資料①)味については、型枠設置が早いものの方が、糖度が高い傾向でした。

資料① ハート清見の試験結果

設置日	成 功 数				成功数合計 /設置数	成功率 (%)	深さ
	三 崎	名 取	二名津	平 磯			
8/12	4	7	5	7	23/41	56	7.7
8/22	9	8	7	3	27/39	69	6.3
9/2	5	4	4	4	17/20	85	6.3

※ 左長と右長の差が3mm以内を成功とする。

アンケート調査では、ハート清見の利用については「母の日・オレンジデーに利用する」が多く思惑のホワイトデーへの利用は低い結果となりました。(資料②)また、三崎地区の主力3品種の認知度は、不知火ほどの地区も高いが、「清見」は首都圏では低い結果になりました。(資料③)



三崎地区農業後継者のみなさん



<アンケート調査：回収数>

三崎地区	三崎中学校の生徒・先生、三崎地区文化祭来場者	52名
松山地区	出前事業をおこなった児童の保護者	322名
首都圏	新・農業人フェア来場者	30名
	出前事業をおこなった児童の保護者	337名

資料② ハート清見を活用するイベントとは？

(単位：%)

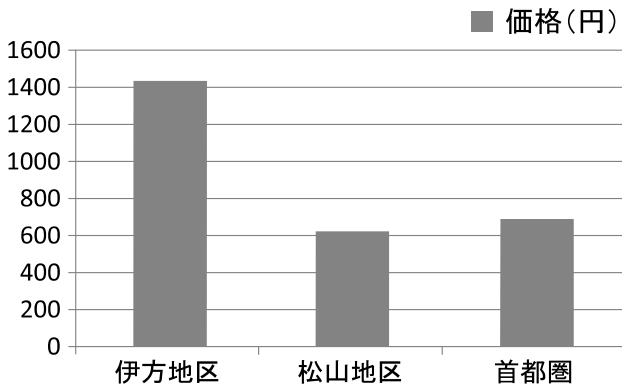
	三崎地区	松山地区	首都圏
ホワイトデー	24	13	13
オレンジデー	31	45	40
母の日	45	42	47

資料③ 三崎地区主力3品種の認知度

(単位：%)

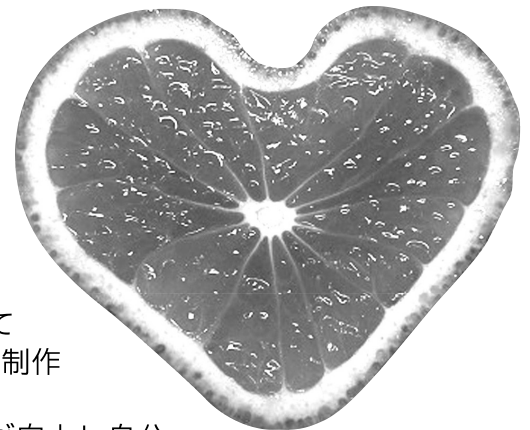
品 種	調査地区	知っている
清 見	三崎地区	79
	松山地区	96
	首都圏	57
不 知 火	三崎地区	92
	松山地区	98
	首都圏	96
サンフルーツ	三崎地区	75
	松山地区	15
	首都圏	37

ハート清見の価格は？



アンケート調査から、自分たちの主体となる品種「清見」の認知度を高めるため今後も清見のPR活動を継続する必要があります。また、フェイスブック等のSNSを活用し皆さんが興味を持って見てくれる情報を流し清見のPRを図っていきます。その一つの手法として、「形の良いハート清見」の制作と販売を進めていきたいと思ひます。

清見のPR活動を行うことで「清見タンゴール」の認知度が向上し自分たちだけでなく、地域農業の所得向上に貢献できるとともに、将来自分たちの後を引き継ぐ若い担い手の掘り起しに少しでも寄与できると考え、積極的に活動を行っていきます。



NEW FACE

伊方町の新規就農者を紹介！！



きくち じんき
菊池 仁希 さん

- 生年月日：平成2年2月20日
- 住 所：伊方町中之浜 328
- 就 農 年：平成27年4月就農

自分の性格は？	マイペース
就農のきっかけは？	家業のため
農家に対するイメージは？	大変なことも多いが、手間暇かけた分結果が出る
今後の目標は？	祖父や地域の人、農業の先輩達に指導してもらいながら、自分のアイデアを取り入れた農業をやっていききたい。
伊方町に望むことは？	若者が活気的に暮らせる明るい町づくり

農業委員・農地利用最適化推進委員の 皆さんを紹介します

農業委員の任期満了に伴い募集を行い、議会の同意を得て決まりました。

5月15日に、臨時総会が開催され、会長に川田邦男さん、職務代理者に垣内源司さんが選ばれました。また、新たに始まる農地利用最適化推進委員についても農業委員の承認を得て決まりました。

農業委員会は、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携して、農地等の利用の最適化（担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）の推進に取り組んでいきます。

新しい農業委員、農地利用最適化推進委員の皆さんは次のとおりです。

農 業 委 員			農地利用最適化推進委員			担 当 区 域
議席 番号	氏 名	住 所	区 域	氏 名	住 所	
1	田 中 茂 喜	中之浜	第1区	矢 野 道 政	大 浜	大浜、中之浜、仁田之浜
2	宮 本 厚	亀 浦	第2区	山 口 貞 行	河 内	河内、湊浦、小中浦、中浦、伊方越、亀浦
3	高 月 嘉 彦	川永田一	第3区	竹 内 定 晴	豊之浦	川永田、豊之浦
4	井 上 久 志	須 賀	第4区	山 口 勇 一 郎	畑	奥、向、畑、須賀、久保、西
5	川 田 邦 男	古屋敷	第5区	中 村 将 士	田之浦	二見、加周、田之浦、古屋敷、鳥津、大成
6	木 野 秀 俊	三 机	第6区	竹 林 俊 則	足 成	三机、上倉、松之浜、高浦、佐市、足成
7	清 水 京 子	川之浜	第7区	清 水 重 文	塩 成	塩成振、塩成上、川之浜
8	坂 本 竹 市	小 島	第8区	木 下 幸 保	大 江	大江、志津、小島
9	小野瀬 マサエ	大 久	第9区	石 崎 和 彦	大 久	大久、田部、神崎、高茂、リゾート
10	眞 田 八重子	三 崎	第10区	田 中 浩 二	三 崎	須賀、中村、上、札場、高浦
11	中 田 政 木	三 崎	第10区	中 里 和 也	高 浦	杉山、中西、大西、赤坂、川之元、中尾、サザエバエ、灘
12	梶 原 利 幸	名 取	第11区	中 村 高 律	井野浦	佐田、大佐田、井野浦、名取
13	梶 原 光 政	串	第12区	大 原 正	与 侈	与侈、串、正野
14	垣 内 源 司	松	第13区	浅 野 正 吾	平 磯	二名津、明神、平磯、釜木、松

任期：平成29年5月15日から平成32年5月14日